

H008

- T : こんにちは。
- I : こんにちは。
- T : はじめまして〈はい〉。  
えと, 【T】と申します。  
【T】と言います。  
えと, お名前, お, 教えてください。
- I : あ, 【I (フルネーム)】です。
- T : 【I (フルネーム)】くん〈はい〉。  
そうですか。  
よろしく申し上げます。  
えっと, ちょっとお話いろいろね〈はい〉, 聞かせてくださいね〈はい〉。  
えっと, 【I】くんは〈はい〉, いつ日本に来たんですか？。
- I : 小学2年生ぐらいのとき。
- T : 小学校2年生ぐらい。  
あー, そうですか。  
で, 今は, えーと, 何年生ですか？。
- I : 今は, 今か。
- T : 今。
- I : いま高1。
- T : あ, 高1。  
あ, ごめんなさい。  
今年の春〈はい〉, 高校に入ったばかりなんですか。  
あー, そうですか。  
えっと, ご家族は？。
- I : ご家族。
- T : 何人ですか？。
- I : 5人かな。
- T : 5人。  
あー, そうですかー。  
えっと, わたしも5人家族なんです。  
【I】くん5人家族ですね〈はい〉。  
わたしは, あの一, 兄弟が3人ですけど, 【I】くんは？。
- I : 兄弟。  
3。
- T : あ, そうですか。  
お兄さんとかお姉さんは、、、いらっしゃるの？。
- I : はい。
- T : あ, じゃ, ちょっと, 教えてください。  
教えていただけますか？。  
お兄さん？。  
お姉さん？。
- I : お兄さんとお姉さん。
- T : あ, そうですか。  
ちょっと, 【I】くん, 声, もうちょっと〈はい〉。  
わたし耳がね〈あ, はい〉, 遠いので {笑}, もう少し大きい声で, あの, ちょっと, お話してもらえますか。  
ちょっとね, 耳があんまりよくなくて。  
大きい声でお願いします。  
【I】くん若いから大きい声出るでしょ {笑}。  
お願いします。

H008

えっと、お姉さんは、もう、大きいんですか？。

I : あ、はい。

T : 何歳ぐらい？。

I : いや、もう、28。

T : \*\*\*方ですねー。

お兄さんも？。

I : お兄さんも27。

T : あ、そうですかー。

じゃ、【I】くん、すごくかわいがられて、家族みんなに、いるんですね。

I : あ、はい。

T : ふん。

えっと、小学校2年生のときに日本に来たんですね。

I : はい。

T : ふーん。

今はどこに住んでるんですか？。

I : 今は【地名1】。

T : ん？。

I : 【地名1】の【地名2】です。

T : 【地名1】の【地名2】？。

I : はい。

T : あ、そうですか。

【地名1】区？。

I : はい。

T : あ、そうですか。

えっと、あの一、毎日ね、いま高校1年生っておっしゃいましたけど〈はい〉、あの一、えと、何曜日から何曜日まで授業があるんですか？。

授業。

勉強。

I : 授業。

T : うん、授業。

何曜日から何曜日まで？。

I : うん。

月曜日から金曜日まで。

T : あ、そうですか。

土曜日は？。

I : 土曜日はないです。

T : ない。

I : はい。

T : あー、そうですかー。

えっと、じゃ、だいたい、あの一、1日に何時間ぐらい授業があるんですか？。

I : 1日に、、、4時間ぐらい。

T : 4時間。

あ、割と少ないんですね。

朝からお昼くらいだね〈はい〉。

あの一、日本人の学生と一緒に、生徒も一緒に勉強するんですか？。

I : あ、はい。

T : あの一、勉強のなかで、何がいちばん面白いんですか？。

I : 勉強は好きじゃない。

T : 勉強は好きじゃないわけ {笑}。

じゃ、毎日たいへんですね、好きじゃないのに〈はい〉。

H008

じゃ、例えば、今日、えーと、何分だっ、なんの、今日これから勉強があるんですねー〈はい〉。  
えーと、なんとなんの勉強があるんですか？。

I : 漢字とか〈ええ〉ことばの勉強が。

T : ええ。

あ、そうですか〈あ、はい〉。

あの一、【I】くんの\*\*\*て何時から何時までですか、学校は？。

I : え、ぼくは、もう、学校の…

T : 何時に始まって。

I : 午後5時〈うん〉から、あ、ちやう、6時だ、から〈ええ〉、9時10分まで。

T : あ、そうですか。

それで4時間で〈はい〉おしまいなんですねー。

じゃ、部活なんかは、あの一、どうするんですか？。

あるんですか？。

I : あります。

T : あ、そうですか。

え、部活は、その、9時20分すんでから、終わってからやるんですか？。

I : あ、はい。

T : 遅くなって大変ですね〈はい〉。

なんか部活に入ってますか？。

I : はい、入ってます。

T : 何？。

I : サッカーやってます。

T : あ、サッカー〈はい〉。

へー。

夜、こんな遅くにサッカーできるんですか〈はい〉。

ちょっと、じゃ、サッカー、どんなことやるか教えてください。

サッカーの部活。

まず、授業が終わってから、どこで…

I : グラウンドで。

T : 夜ですけど、暗くないんですか？。

I : あー、体育の授業があるんで。

T : あ、そうですか。

じゃ、えーと、部活は、えーと、毎日あるんですか？。

I : いや。

月、水、金だけです。

T : 月、水、金だけ〈はい〉。

じゃ、いつも、ふつうの部活の様子をね〈はい〉、ちょっと、教えてもらえますか？。

どんなふう部活を始めて〈はい〉、え、どうやって終わるか。

I : えー、パス練習こなしたり、シュートの練習出したり〈うん〉、そういうのとか、ま、そういう、ま…

T : ふーん。

何人ぐらいなんですか？。

I : 今、、、5人ですね。

T : あ、5人なんだ。

サッカーの、ちょっと、チーム、足りないですね〈あ、はい〉。

ふーん。

じゃ、なかなか試合に出られないですねー〈あ、はい〉。

なんか、もっと頑張って人数増やしたいですかね？。

I : はい。

T : でも、その…

I : \*\*\*。

H008

- T : コーチが…  
I : コーチ 〈うーん〉。  
          コーチが…  
T : 誰かに教えてもらう人がいるんですか？  
I : はい。  
T : どんな人に教えてもらうんですか？  
I : 【人名1】先生と。  
T : 【人名1】先生と。  
I : はい。  
T : あ、そうですか。  
          じゃ、【人名1】先生と、えー、生徒が5人。  
I : あ、はい。  
          生徒が5人。  
T : あ、そうですか。  
          何年生ですか、みんな？  
I : 一人は3年と、もう一人は2年で 〈うん〉、あとの3人は1年生。  
T : あ、そうですか。  
          ふーん。  
          じゃ、1年生の3人のメンバーのうちの一人ですね 〈はい〉。  
          じゃ、あの、3年生なるまでに 〈はい〉 人数が増えてチームができるといいですね 〈あ、はい〉。  
          えっとね、いま部活のこと聞きましたが、勉強全然楽しくないって {笑} 言ってたけど、日本語の勉強そ  
          ちでは 〈はい〉 あるとおっしゃったけど、日本語の勉強のなかで 〈はい〉 何が面白いんですか？  
I : 日本語がわかってない。  
          うーん。  
          漢字かな。  
T : 漢字面白い？  
I : はい。  
T : どうして？  
I : えーと、順番に書くのが楽しい。  
T : ふーん。  
          漢字は、こう、書き順の順番が決まってますね 〈はい〉。  
          あれ、でも、めんどくさくないですか、覚えるの？  
I : あー、はい。  
T : めんどくさい？  
I : はい。  
T : どうして覚えてるんですか？  
I : いや。  
          テストだから 〈ふーん〉。  
          ま、書いて覚えます。  
T : ふーん。  
          それは、あの、小学校のときから漢字勉強してるんですか？  
I : いやー、中学校から。  
T : 中学校から。  
          国語の時間に？  
I : あ、はい。  
T : ふーん。  
          あの、どうやってね、第一、家で、こう、練習したりするんですか、漢字？  
I : たまにします。  
T : たまに？  
I : はい。

H008

- T: 日本人の生徒もね〈はい〉, 漢字いっしょうけんめい覚えると思うんですよー, 今の生徒は知らないけれど。わたし, 昔, 中学校のときにやっぱり習った漢字, いっしょうけんめい家でね〈はい〉, 書かないとやっぱり覚えられなかったんですねー〈はい〉。  
でも, あのー, あ, そういや, 【I】くんにお国を聞いてませんでしたね {笑}。  
どこの国から〈はい〉日本に来たんですか？。
- I: ブラジルから来ました。
- T: あ, そうですかー。  
じゃ, ことばは？。
- I: ことばは, まー, しゃべらない。
- T: 何語ですか, ブラジル語じゃなかったら？。
- I: ポルトガル語。
- T: ポルトガル語〈はい〉。  
あ, そうですか。  
ポルトガル語の人が漢字勉強するの, 大変ですねー。  
じゃ, ちょっとね〈はい〉, あのー, 日本に来たときのこと思い出して, あのー, いただきたいんですけど, 日本に来たとき〈はい〉, ことばはどうでしたか？。
- I: いや, 全然わからなかったです。
- T: あ, そうですか。  
そのときに, あの, 小さいときに, どういうふうに思いました, ことばがわからないところに来て？。
- I: いや, よくわからなかったですね。  
ま, 苦労, 苦労はしました。
- T: 苦労した〈はい〉。  
どんな苦労しましたか？。  
ちょっと, 小さい子どもが苦労したら, ほんとにかわいそうだと思うんですけどね, ことばで。  
どんな苦労したか, ちょっと教えてください。
- I: 職員室とか行ったり, しょく, 職員室で, 行って, 中で, あれ, ことばと\*\*\*っていたり。
- T: ことば, 何？。
- I: ことばを練習していたんで。
- T: あ, 職員室でことば練習していたんですか〈はい〉。  
あ, そうですか。  
ふーん。  
じゃ, 友だちの中にも〈はい〉, 小学校のとき, ぱっと友だちの中に入ったときに〈はい〉, ちょっと, やっぱり, 心配でしたか？。
- I: あ, はい。
- T: でも, 実際に教室入ってどうでしたか？。
- I: いや, あんまり全部覚えてないです。
- T: あんまりよく覚えてない。  
じゃ, 小学校のとき, あんまり楽しい思い出ないですか？。
- I: あー, たいへんでした。
- T: たいへんだった〈はい〉。  
そうでしょうねー。  
たいへんだったでしょうねー。  
で, あのー, えーと, 中学校に行って, いま高校ですけどね〈はい〉, あのー, 高校で, そうですねー, 部活がサッカーで, お勉強があまり好きなのがなくて {笑}, 高校生活で楽しいことって, いくつかあると思うんですけども, 楽しいことはどんなことですか？。
- I: 楽しいこと〈うん〉。  
\*\*\*とか。
- T: ん？。  
楽しいことっていろいろあると思うんですよね, ほら, おいしい料理を食べるとか, 家族と一緒に話をするとか, どこか行くとか, なんか, あるかなーって思うんですけどね。

H008

うーん。

最近、じゃー、さ、最近たのしかったことって、ありますか？。

I : 最近たのしかったこと。

体育。

T : 体育。

え、どうして？。

どういうことが楽しかったですか？。

I : さい、あの、バスケとか、友だちと遊んだり。

T : うん。

あ、いま体育でバスケットやってるんですか〈はい〉。

あー、そうですか。

楽しそうですね。

あの、ブラジルはすごいでしょ。

サッカーもすごいのか〈はい〉。

バスケットもそうか。

I : サッカー、はい。

T : サッカーのほう。

あ、そうですかー。

あの一、えーと、サッカーの、あ、サッカーじゃない、ごめんなさい。

ブラ、あの、バスケットのね〈あ、はい〉、ルールって、あたし、よくわかんないんですけど、あれ、なんか、こう、点入れたりするルールってあるんですよ？。

I : あ、はい。

T : ちょっと、教えてもらえますか？。

I : いや、あれは\*\*\*ど。

T : あ、そう〈あ、はい〉。

わたしも実はバスケットたまに試合見てもね〈あ、はい〉、ルールがわからないので〈はい〉、どうなったら点数が入るのかなって思って。

【I】くん、ちょっと、教えてもらえるかなって。

I : えー、、、どうなったらシュート〈うん〉。

えー、シュート…

T : シュートが？。

シュートはわかる。

シュートは、もう〈はい〉、かごみたいなものに入れるでしょ〈あ、はい〉。

そしたら何点入るん？。

I : あ、2点入る。

T : あ、2点入るの〈あ、はい〉。

あー、そうですか。

じゃ、何点までとか、時間で決まるんですか、試合の？。

何時ぐらいで決まるの？。

I : 時間で。

T : 時間で〈あ、はい〉。

どういう時間で？。

I : 例えば、15分とか〈うん〉、ま、後半とか前半とかあります。

T : あ、前半何分？。

I : 前半はわからないです。

T : 後半は？。

I : 後半、30分ぐらい。

T : あー、そうですかー。

で、その時間、決まった時間の中で〈はい〉、何点入れるか？。

I : はい、そうですね。

H008

- T: で、決まるんですか。  
あ、そうですか。  
さっき、ちょっと、サッカーが出ましたけどね〈はい〉、サッカーも好き？。
- I: はい、好きです。
- T: そうですか。  
よく見ますか？。
- I: はい。
- T: 見るのとやるのとどっちが好き？。
- I: やるほうが好き。
- T: やるほうが好き〈はい〉。  
そうですか。  
サッカーも学校で。  
うーん。  
あ、サッカークラブっておっしゃったわね、さっきね。
- I: あ、はい。
- T: あー、そうですか。  
ブラジルは強いですもんね〈あ、はい〉。  
なんか、応援してる選手いますか？。
- I: いや、してないです。
- T: あ、そうですか。  
日本ですごく、今、サッカーさかんですけどね〈あ、はい〉。  
うーん。  
いまサッカーの話が出たけど〈はい〉、じゃ、今度テレビの話に。  
テレビなんか、よく見ますか？。
- I: はい、見ます。
- T: うん。  
どんなもの見ますか？。
- I: ドラマとか映画とか、いろいろ見ます。
- T: ふーん。  
最近よく見てるドラマありますか？。
- I: 最近ていうか、まー、、、いや、ないです。
- T: ない〈はい〉。  
じゃ、映画は？。  
なんか見たい映画。
- I: 映画は見ます。
- T: 何？。
- I: 『【作品名1】』とか。
- T: 『【作品名1】』。  
あー、そうですか。  
名前はすごく有名で聞いたことあるんですけど〈はい〉、『【作品名1】』、どんな話ですか？。
- I: アクションみたいな。
- T: どこの国の映画ですか？。
- I: アメリカかな。
- T: アメリカ。  
ちょっと、簡単に、こないだ、その、見た『【作品名1】』のね〈はい〉、ストーリー〈はい〉ふまえて教えてもらえますか？。  
すごく有名なんで知りたいと思います。
- I: ストーリーは、あれ、なんていうかな、ストーリーはゲームみたいな世界で。
- T: ふーん。  
ゲームみたいな〈はい〉。

H008

どんなところから始まってくるんですか、その『【作品名1】』の映画は？。

I： あの、よくわからんみたいなの。

T： 主人公は？。

I： 主人公。  
いまむ。

T： どんな人？。

I： 主人公はどんな人 {笑}。  
一言で、なんていえばいいの、その…

T： 男の人、女の人？。

I： あ、男の人です。

T： 男の人。  
ふーん。

その、ストーリー、最後はどんなふうに終わってましたか？。

I： 最後は主人公死ぬんです。

T： え？。  
誰が？。

I： 主人公が。

T： 死んじゃう (はい)。  
どうして？。

I： え、なんか、相手と戦って (ええ)、ますます負けるんです。

T： ハッピーエンドじゃないんですね (はい)。  
普通、ハッピーエンドで終わってほしいけど。

ふーん。

そうですかー。

その中でね (はい)、その映画の中で、どこがいちばん面白かった？

印象に残ってるとか。

I： 面白かったところ。

いや、ない。

T： でも、面白かったってさっき言ったでしょ。

I： あ、はい (笑)。  
内容が…

T： ん？。

I： いいところあんまし\*\*\*。

T： いいところはなの？。

I： はい。

T： じゃ、どこが面白かったの？。  
なんとなくって感じ？。

I： いや、、、さー、わからない。

T： ほかの人も見たらいいよとお薦めしたいですか？。

I： いや。

T： あんましたくない？。

I： はい。

T： {笑} でも、なんか、面白って、あの、み、見てたら、ちょっと、興味がありますね、うん。  
機会があったら見てみますね (はい)。

あの、えっと、こ、この学校、定時制高校で (あ、はい)、えと、夜、あの一、授業がありますけど、昼間  
どんなことしてるんですか？。

I： 昼間、働いてます。

T： あ、そうですかー。

あの、どういう仕事ですか？。

I： あ、ラーメン屋とか。



H008

- T: ふーん、ラーメン屋さんね。  
たいへんですか？。
- I: はい。
- T: ふーん。  
やっぱりお客は日本人が多いですか？。
- I: あ、はい。
- T: ふーん。  
【I】くん、どんな仕事してるんですか、\*\*\*ラーメン屋さんで？。  
ラーメン屋さんでどんなことしてるんですか？。
- I: チャーハン作ったり。
- T: あ、実際に作ってるの。
- I: はい。
- T: 料理を。
- I: あ、はい。
- T: あらー、すごいですね。  
いつから始めてるんですか、そのアルバイト？。
- I: 1週間前くらい。
- T: あ、そうですかー。  
チャーハン、あたしも大好きなんですけど、チャーハン、作り方、ちょっと、教えてもらえますか？。
- I: はい。
- T: うん。  
だって、お店に出すようなチャーハンって、すごくおいしそうじゃないですか。  
ちょっと、教えてほしいんですけど。  
お店の秘密？。
- I: あ、はい。
- T: じゃ、秘密にならない程度に、ちょっと教えて、基本的な作り方。
- I: えっと、まずご飯なべに入れて〈うん〉、卵をご飯の上に入れて、混ぜて、で、鍋にかためて、そして塩とかこしょうとか撒いていったら、あと、チャーシューとかねぎ入れたら\*\*\*。
- T: ふーん。  
その\*\*\*なんは、どうするんですか？。
- I: \*\*\*。
- T: その定食の味で高める。  
ふーん。  
店長さんとかは、もう、定食なさる、チャーハン任せてるんですか？。  
チャーハンだけ作るのが仕事？。
- I: はい。
- T: 専門に。  
そうですか〈はい〉。  
アルバイトでね〈はい〉、やっぱり、いろんな、あの、働く、えー、仲間とか店長さんとか、お客さんとかあるんですけどね、あの一、何か困ったことありますか？。
- I: 困ったことは、ないです。
- T: ふーん。  
順調に〈はい〉できてる。  
あ、そうですかー。  
だったら問題ないですね、うーん。  
じゃ、アルバイトしてて〈はい〉、なんか楽しかったことってありますか？。
- I: いや、ないです。
- T: {笑} じゃ、楽しいこともなくて困ったこともなくて、じゃ、えっとー、アルバイトしてて、いちばん、なんのためにアルバイトして、いいって、目的っていうかね〈はい〉、うーん。
- I: じゃー…

H008

- T: やっぱり、アルバイトするとね、お金もちちゃんともらえるし、そういう点ではすごくいいですよ。ね、あの一、それはいいと思うんだけどね。
- でも、やっぱり、その、アルバイトしてると、ほんといろんな人と話す機会もあるんじゃないかと思うんですけどね、どうですか、学校とはまた違って？。
- I: いや、まー…
- T: あんまり問題ない？。
- I: はい。
- T: じゃ、良かったね、うん。
- あの一、えっと、じゃー、ね、ちょっと、趣味を聞きたいんですけど、全然話は違うけど、あの、夜学校に行行って昼間ね、アルバイトしてたらなかなか時間ないと思うんですけど、土曜日とか日曜日とか、あの一、時間のあるときの趣味とかね、好きなことはどんなことか、教えていただけますか？。
- I: なんか、マンガとか〈うん〉ゲームしたりとか。
- T: マンガと何？。
- I: マンガ、ゲームとかして。
- T: マンガとか、あ、マンガとかゲームとか？。
- I: はい。
- T: うーん。
- マンガ面白いですよー〈はい〉。
- きっと、でも、【I】くんが好きなマンガとわたしが好きなマンガと違うかもしれないんだけど〈はい〉、わたしもマンガすごく好きなんですけど、どんなマンガ読むんですか？。
- I: あ、野球とか、っていうマンガ。
- T: へー。
- 野球専門のマンガがあるんですか。
- どんなマンガ、なんていう名前のマンガですか？。
- I: 『【作品名2】』。
- T: え？。
- I: 『【作品名2】』。
- T: 『【作品名2】』？。
- I: はい。
- T: へー。
- どんな物語？。
- I: えー、ふつうに、野球やってて、ま、どんどん強くなっていくで…
- T: どんどん何？。
- I: 強くなって行って。
- T: 強いやつ？。
- I: はい〈うん〉。
- で、倒していくみたいな。
- T: 倒していく。
- で、その主人公は野球のチームにいる人？。
- I: \*\*\*。
- T: 何？。
- やっぱ役は？。
- 野球だって、いろんな、あ、あるでしょ。
- I: あ、甲子園に行行って〈ええ〉、優勝する、優勝する、はい。
- T: 優勝する？。
- I: はい。
- T: チーム？。
- I: はい。
- T: すごいですねー。
- その人は何、あの、ピッチャーとかキャッチャーとかバッターとかいろいろあるけど、なんですか、その

H008

主人公は？。

I : 主人公はファーストに。  
真ん中。

T : あ、ファーストなの〈はい〉。  
あー、そうですかー。

【I】くん、野球が好き？。

I : あ、はい。

T : ふーん。  
ファーストっていちばん難しいかなって思うんだけどね。

I : いや、どこでも難しいです。

T : あ、どこでも難しいの？。

I : はい。

T : ふーん。

えっとね、あの、今いっぱいお話聞きましたけどね、【I】くんみたいにスポーツが好き、外で、外でいっぱい活動するっていうね〈はい〉、あの一、ことがだんだん日本の子どもには少なくなってきたんじゃないかと思うんですけどね、ゲームをしたり、その、マンガを読んだりするだけでね〈はい〉。

ふーん。

【I】くんの周りの子はどうですか？。

I : いや。

T : ゲームとかばかりやってる子はいませんか？。

I : いや、そんなんいないです。

T : あ、そう〈はい〉。

みんなちゃんと外で遊んでるんです〈はい〉って言ってますか。

ふーん。

それだったらいいけどね。

あの、新聞でね〈はい〉、よく、あの一、もう、ゲームばかりしてて〈はい〉、そして友だちもいなくなって〈はい〉、あの、犯罪を犯すような子どもたちがいるっていうようなことを、ときどき、いー、ニュースになるんですけどね。

そういうことについて、【I】くんは、なんか、どう思いますか？。

I : いや、あの、おかしいなと思う。

T : おかしいなって思う、やっぱり〈はい〉。

どうしてそういうふうなね〈はい〉、子どもたちは、こう、ゲームばかりするようになったらうんでしょうね？。

I : あ、はい。

T : うん。

どうしてだと思えますか？。

I : いや、ゲームに対する、楽しいと思うから。

T : うーん。

でも、ゲームよりやっぱり人とね〈はい〉、交わった、遊んだり、こう、人と、こう、なんかやるほうが楽しいんじゃないですかねー〈あ、はい〉。

どうかしら。

そういう子たちはどうなんだろう。

I : いや、まー…

T : あんまり人のことわかんない？。

I : いや。

T : {笑} あの一、すごい日本で、また、今ね、【I】くんの、あの、国では、どうかわかんないんだけど、日本では、その、すごい、犯罪がいっぱい起こってね、あの、殺人事件とかいっぱい起こってるでしょう。

ああいうことについて、どう思いますか？。

I : えっと、なんでこんなことするんかなって。

T : うーん、そうね。

H008

なんでそんなことするのかなんて思いますね。

うーん。

やっぱ友だちがいないのかなって思いますけどね。

\*\*\*。

I : \*\*\*。

T : ん？。

あんまり考えたことない？。

I : あんまり考えたことない。

T : あんまり考えたことない。

じゃ、【I】くんの周りには、そういう人があんまりいないんだ〈はい〉。

いい友だちがいっぱいいるんだね。

良かった。

あの、アルバイトで〈はい〉仲のいい友だちっていますか？。

I : 仲のいい友だち。

ま、【人名2】っていう…

T : ん？。

I : 【人名2】っていう…

T : 【人名2】くん？。

I : はい。

T : ここの学校のお友だち？。

I : はい、そうです。

T : あ、そうですかー。

【人名2】くん、じゃ、どんな人ですか？。

I : いや、どんな人なのかなー〈うーん〉。

うん、うん、まー…

T : どうし、ね、今、あの、ぱっと名前が出てきたから、きっと、いい友だちかなと思って〈はい〉。

親切ですか？〈はい〉。

親切？。

親切的な友だち？。

I : いや。

T : 親切じゃないの。

どうして親切じゃないの？。

I : え、しん…？。

T : うん、親切。

あ、親切って、ほら、あの、いろいろね、教えてくれたり、手伝ってくれたり、一緒に話したりっていう、優しい友だち。

I : あ、はい。

T : うん。

親切？。

I : うん。

T : ふーん、そう。

ちょっと、じゃ、ね、あの、【人名2】くんのこと、あたし、もう少し、ちょっと、興味があるんだけど、教えてくれますか？ {笑}。

I : えー、ま、いろいろな話がしてるんで。

T : あ、そうなんだ。

毎日一緒にアルバイトしてるんですか？。

I : はい、はい。

T : 同じクラスの人？。

I : 同じクラスの人。

T : あ、そうですかー。

H008

じゃ、夜も一緒に勉強して。

I : はい。

T : じゃ、一緒に過ごす時間長いんですねー。

I : はい。

T : ふーん。

【人名2】くんはどこに住んでるんですか？。

I : いや、いや、わかりません。

T : あ、わかんない。

ふーん。

【人名2】くん兄弟、何人いるかとかも。

I : えっと、それはわかりません。

T : あ、それもわかんない〈はい〉。

じゃ、いつもどんなことを話してるんですか、【人名2】くんと。

I : いや、なんか…

T : ふーん。

えっとね、あの一、じゃー、今度、【I】くんね、わたしが、こう、一方的に、今日、いっぱい、なんか、もう、質問しちゃって、すごい緊張して{笑}、あの、なんでこんなことをするのか不思議に思ってるだろうけど{笑}、あの、今度わたしにね、わたし今日、【地名3】から来たんですよ〈あ、はい〉、でー、あの一、えー、あの一、学生さんにね、日本語教えたりする仕事してるんですけどね〈はい〉、わたしに何か質問ありませんか？。

なんかこんなこと聞いてみたいとか。

I : 【地名3】、【地名3】ですよ？。

T : うん。

I : 【地名3】で何をしているんですか？。

T : 【地名3】で？。

I : はい。

T : わたし？。

I : はい。

T : 仕事？。

I : はい。

T : うん。

【地名3】ではね〈はい〉、あの、外国人の学生に〈はい〉日本語を教える仕事してます。

うーん。

それから日本語を教えたいた日本人の人たちに〈あ、はい〉日本語の教え方を教えたりする仕事してるんですけどね。

【地名3】来たことありますか？。

I : いや、あまり。

T : あ、一度来てください。

【地名3】のイメージありますか、なんか？。

I : いや、ないですね。

T : すごくね、海と山があってきれいなところですよ。

じゃ、ちょっと、ここでね〈はい〉、ロールプレイっていうのをやっていただきたいんですけどね。

えっと、これ、ちょっと、読んでもらえますか？。

I : 明日〈うん〉、国へ帰ります。

荷物が多いので、友だちの、え、とも？。

T : 友だちのお兄さん。

I : 友だちのお兄さんに車で一緒に行ってもらおうよう、たの、頼んでください。

T : うん。

べつに、えーと、国へ帰るんじゃないなくてもね〈はい〉、学校へ行くときでもね、荷物が多かったりするときね、雨が降ってたりして、ちょっと、車に乗せてもらいたいこととかあると思うんですけどね、これは国へ

H008

帰るとき、荷物が多いので〈はい〉、友だちのお兄さんに車で、あの、送ってくださいって、頼む。

わたし友だちのお兄さんになりますから〈あ、はい〉、【I】くん、ちょっと、電話で頼んでください。

I : えー。

T : もしもして。

I : もしもし。

T : あ、はい。

あ、あの一、【人名3】ですけど、誰？。

I : え。

T : あ、【I】くん？。

I : あ、はい {笑}。

T : 何、今ごろ？。

用事？。

I : えー、国に〈うん〉帰る、帰るんで、…

T : え、来週帰るの？。

I : あ、はい。

T : ふーん。

あ、そう〈はい〉。

それで？。

I : 荷物がおお、ちょっと多いから〈うん〉、ちょっと手伝ってもらえませんか？。

T : 手伝うって、何？。

I : 荷物を〈うん〉運ぶのを。

T : 運ぶのを？。

I : はい。

T : あ、車で？。

I : あ、はい、車で。

T : 何時、明日？。

I : え？。

T : 何時？。

I : 何時って、あ、あ一、朝の6時。

T : 朝の6時？。

I : はい。

T : 6時。

ちょっと早いねー〈はい〉。

うーん、起きられるかなー。

I : 7時ごろにします？。

T : だって、飛行機、何時？。

I : 飛行機、もう、昼からでしたね。

T : 飛行機、昼から？

I : あ、12時からです。

T : 12時〈はい〉。

12時から？。

I : はい。

T : あ一、そう。

じゃー、大丈夫かなー〈あ、はい〉。

じゃ、出る前に電話してくれる？。

I : あ、はい。

T : うん。

何時ごろ？。

I : 何時ごろ。

えっと、あの、10時半ぐらいにメールします。

H008

- T : あ, そう, うん。  
じゃ, あの, 10時半に電話してね。
- I : はい。
- T : うん。  
ちょっと忙しいんだけどね。
- I : はい。
- T : うん。  
じゃ, 【I】 くんのために頑張って明日, 行こかな。
- I : はい。  
ありがとうございました。
- T : はい。  
えーとね, これでロールプレイは終わりです。  
緊張しました？。
- I : はい。
- T : {笑} 今日, 終わってから, これからどうしますか？。
- I : 終わってから, 10時に社会の授業に出ます。
- T : あ, そうですか。  
ありがとうございましたー。